



アジア湿地シンポジウム無錫2011 および KODOMOラムサール<無錫>国際湿地交流への参加

「アジア湿地シンポジウム無錫2011」と「KODOMOラムサール<無錫>国際湿地交流」が、10月に中国江蘇省無錫市（こうそしょう・むしゃくし）で開催される。シンポジウムには豊岡市長が、KODOMOラムサールには本市の高校生が参加する。

■アジア湿地シンポジウム無錫2011

1. 趣 旨

- ・今年がラムサール条約誕生40周年、国際森林年、また、国連・生物多様性の10年の初年度であり、ラムサール条約第11回締約国会議〔COP11（2012年・ルーマニアで開催）〕の前年にあたり、中国で「アジア湿地シンポジウム無錫2011」が開催される。
- ・アジアにおけるラムサール条約湿地の拡大・普及啓発を進める「ラムサールセンター」をはじめ、中国政府、NGO等の主催により、10月11日から3日間、江蘇省無錫市でシンポジウムが予定されている。
- ・このシンポジウムに、ゲストスピーカーとしてコウノトリの取組みを紹介するよう依頼を受けた。中貝市長が出席し、分科会でのプレゼンを行うとともに、ラムサール条約COP11での本市の湿地登録に向けた動きをアピールする。

2. シンポジウム概要

(1) 日 程

平成23年10月11日（火）～13日（木）

- 11日 午前：開会式、基調講演 午後：フィールドエクサカーション（太湖）
- 12日 午前：基調講演・特別講演 午後：分科会
- 13日 午前：分科会 午後：全体会議、無錫宣言採択、閉会式

〈分科会テーマ〉

- ① 湿地と森林管理
- ② 湿地と湖沼
- ③ 湿地と気候変動／人類の健康と湿地
- ④ 水鳥と湿地
- ⑤ 湿地と農業
- ⑥ 湿地と観光／豊かな暮らしと湿地（←中貝市長プレゼン15分）

(2) 場 所

中国江蘇省無錫市 無錫ガーデンホテル（無錫錫州花園酒店）



(3) 目標・目的等

① 全体目標

アジアを代表するホットスポット生態系の湿地を中心に、その包括的な生物多様性保全を可能にする具体的な戦略や手法を明らかにする。

② 目的

- 中国の湿地および森林の保全の実績の国際的共有
- 中国とアジアにおける湿地保全事業の推進
- ラムサール条約の戦略、決議の具体的実施
- アジア地域の湿地の保全についての行政、専門家、研究者、NGOなどとの経験共有、協力関係の構築と強化
- ラムサール条約COP11、生物多様性条約第11回締約国会議〔CBD/COP11 (2012年・インドで開催)〕への貢献

(4) 主な招待スピーカー（予定）

アナダ・ティエガ（ラムサール条約事務局長）、亀澤玲治（環境省野生生物課長）、ジェーン・マドウィック〔ウェットランドインターナショナル(WI)代表〕、マーティン・スプレイ〔水鳥湿地トラスト(WWT)代表〕、高野宏一郎（佐渡市長）、中貝宗治（豊岡市長）ほか

〈参考〉ウェットランドインターナショナル

1995年に設立された120カ国に及ぶ世界規模の非営利団体で、情報交換と保全活動を通じ、湿地と湿地の生物多様性の持続可能な管理と回復を目的とする。本部はオランダ。

(5) 参加者

約450人（中国国内参加者300人、国際参加者150人）

湿地関係行政機関代表、ラムサール条約登録湿地管理官、自然保護区管理官、大学、研究機関、国際・国内NGO、市民、学生など

(6) 成果

- ① ラムサール条約COP11、CBD/COP11へのアジアからの貢献としての「人類の福祉と湿地に関する無錫宣言」の採択
- ② 成果のとりまとめの「報告書」の作成、配布
- ③ ラムサール条約COP11への提言、報告
- ④ ラムサール条約COP11、CBD/COP11における成果の普及



(7) 主催

中国国家林業局、江蘇省人民政府、ラムサールセンター (RCJ)、W I

〈参考〉ラムサールセンター

「ラムサール条約」とその基本理念「保全」と「賢明な利用」の実現を目標に、特に湿地と人間とのかかわりについて、調査研究、普及啓発活動を行っているNGO。本部は日本。

(8) 共催

中国国家林業局湿地管理・保全部、江蘇省林業局、無錫市人民政府、日本国環境省ほか

3. その他

同時開催

第1回「湿地と生態系保全万博」(←豊岡市と佐渡市でパネルを共同出展)

第2回「中国の湿地の文化フェスティバル」

4. 市長旅程

日程	内容	備考
10/8 (土)	移動 (豊岡→慈溪市)	
10/9 (日)	<small>あんどんちゃん</small> ・庵東鎮水田、国立湿地公園視察 <small>じけいし</small> ・慈溪市市場、市内視察	JICA 草の根技術協力事業「コウノトリが結ぶ環境協力」実施地
10/10 (月)	・庵東鎮小学校での環境授業実践視察 ・関係者打合せ 移動 (慈溪市→無錫市)	JICA 草の根技術協力事業「コウノトリが結ぶ環境協力」実施地
10/11 (火)	アジア湿地シンポジウム 1 日目	
10/12 (水)	アジア湿地シンポジウム 2 日目	アナダ・ティエガ ラムサール条約事務局長との面談など
10/13 (木)	アジア湿地シンポジウム 3 日目 移動 (無錫市→豊岡)	分科会での発表



■ESDのためのKODOMOラムサール<無錫>国際湿地交流

1. 趣 旨

- ・ラムサールセンターは、「日本・中国・韓国子ども湿地交流」、「KODOMOラムサール」、「KODOMOバイオダイバシティ」など、日本のラムサール条約登録湿地の子どもたちを中心とした湿地交流活動を過去9年間にわたって続けてきた。
- ・本年からは、アジアの湿地の子どもたちと一緒に、持続可能な地球のために学び、行動していく「ESDのためのKODOMOラムサール」活動をスタートさせ、3年間にわたって実施する。(※ESD=持続可能な開発のための教育)
- ・今回は、アジア湿地シンポジウムに合わせたイベントとして「持続可能な地球のために、みんなで湿地をサステイナブル」をテーマに実施。中国の湿地について学び、日本の子どもたちの活動を中国に紹介、交流して、共同メッセージを発表する。

2. 行事概要

(1) 日 程

平成23年10月8日(土)～10日(月)

○8日 開会式/子ども交流プログラム①(活動発表)

○9日 子ども交流プログラム②(フィールド学習 太湖)

〃 ③(グループディスカッション)

〃 ④(アジア湿地シンポジウムへのメッセージとポスターづくり)

リーダー研修プログラム(先生・引率者向け)

○10日 子ども交流プログラム⑤(湿地と生態系保全万博会場で、KODOMOラムサールブースの設営・展示)

※11日は、KODOMO代表がアジア湿地シンポジウムに参加し、メッセージを発表します。

この行事に、豊岡高等学校3年生西浦拓也さんが参加します。

加えて、①9日 リーダー研修プログラムを受講

②11日 KODOMO代表の一員としてメッセージ発表 も行います。

《西浦拓也さん参加経緯》

全国37カ所のラムサール条約登録湿地およびその他の湿地で活動している、湿地に関心のある小学5年生～高校生までの子どもと引率者が募集され、子ども14名と大人5名が選出された。



(2) 場 所

中国江蘇省無錫市、太湖湿地
無錫市太湖国際展示場

(3) 主 催

R C J、E S DのためのKODOMOラムサール実行委員会 (RCJ、積水化学工業
ほか)、W I 中国

(4) 協 力

中国国家林業局湿地保全管理センター、江蘇省林業局、無錫市

(5) 協 賛

積水化学工業株式会社、無錫積菱塑料有限公司

(6) 助 成

環境再生保全機構地球環境基金

※なお、以上の行事の随行及び引率として、下記市職員が同行する。

- アジア湿地シンポジウム無錫2011 【市長随行】 = コウノトリ共生課 上田
○KODOMOラムサール国際湿地交流 【引率者】 = " 宮垣

〔問合せ〕 豊岡市コウノトリ共生課 TEL 0796-21-9017 FAX 0796-24-8101